

住設建材メーカー15社値上げ発表、原油価格高騰がリフォーム業界へ波及、「転嫁するか、飲むべきか」現場は二択迫られる

昨年末から大手メーカーによる値上げの発表が相次ぎ、リフォーム業界に激震が走っている。リフォーム会社経営者も「価格が上がる商材は売りにくくなる」とため息を吐く。各社の声を辿ると、新型コロナウイルスの感染拡大に端を発した原油価格の高騰、それに伴う流通の停滞が主要因であることがわかってきた。もはや一企業の努力だけでは補えないレベルで、業界一丸となって乗り越えていくべき課題となっている。

今月からパナソニックが、10月1日からはTOTOが価格改定に踏み切り、これで主要メーカーの価格改定は出揃う。

アルミ高騰想定外、LIXIL社長「転嫁せざるをえません」

「さまざまな要因が重なり合い、原材料費の高騰に終わりが見えない状況。お客様へのご理解、ご協力を仰いでいる最中です」。こう苦しい胸の内を明かすのは、あるメーカーの関係者。今、大手メーカー各社は希望小売価格の改定に頭を悩ませているのだ。

LIXIL(東京都江東区)は昨年12月に4月からの価格改定を発表した。主要商品では住宅用サッシが10~12%程度、エクステリア関連が10%程度、トイレが2~33%程度、ユニットバスルーム4~39%程度、キッチン2~11%程度などの値上がりとなっている。

理由のひとつは原材料費の高騰だ。木材や銅の資材価格の上昇などについては予想の範囲だったが、アルミニウムの13年ぶりの高値は想定外だった。原料となる鉱石ボーキサイトの主要生産国ギニアで政変が起こったことなどが背景にある。「高く買ったものは安く売れませんので、基本的に上がった分は転嫁せざるをえません」と瀬戸欣哉社長は話す。原材料費の高騰だけではない。「自然災害やサプライチェーンのひっ迫など、世界的に外部環境が厳しい状況下で、企業努力だけ対応するのは困難です」とは同社広報の弁だ。

TOTO、材料費76億円増の背景に「アイアンショック」

TOTO(福岡県北九州市)も今年10月から値上げに踏み切る。衛生陶器が3~8%、ユニットバス・システムバスルームが6~20%程度、システムキッチンが2~7%ほど値上がりする。同社によれば著しく高騰した材料は銅、樹脂、鋼板の3つ。銅は主に水洗金具に使われる。蛇口の表面こそニッケルクロム鋼でメッキが施されているが、内部など主要な部分は銅が占めている。樹脂は、アクリル系が人工大理石やユニットバスの壁に使われたり、エ

価格改定を行う主なメーカー一覧

メーカー名	主な対象商品	おおよその値上げ幅	改定日
Panasonic	キッチン、バスルーム、洗面化粧台、トイレ設備など	6~12%	2022年8月1日
LIXIL	住宅用サッシ、トイレ、キッチンなど14項目	2~39%	2022年4月1日
TOTO	衛生陶器、ウォシュレット、ユニットバスなど6項目	2~20%	2022年10月1日
YAP	玄関ドア、窓、サッシなど水通用品、エクステリア商品、金属外装材など	8~15%	2022年1月1日~随時
Rinnai	給湯機器、ビルトインガスコンロ、食器洗い乾燥機、空調機器など	5~10%	2022年4月1日
三協立山株式会社	エクステリア商品全般、ビル商品全般	4~12%	2022年2月1日
DAIKEN	床材、壁材、室内ドア、耐震ボード、玄関収納・下駄箱など	10~12%	2022年4月25日
Takara standard	システムキッチン、洗面化粧台、レンジフードなど	1~9%程度	2022年4月25日
sangetsu	壁紙材・床材・カーテン・椅子生地・副資材	18~24%	2022年4月1日
アパチックス	システムキッチン、システムバスルームなど	6%	2022年7月4日
EIDAI	床材、室内階段、階段廻り材、室内ドア、収納など	5~10%	2022年4月1日
WODETEC	床材、階段、玄関部材、壁・天井材、手摺りなど	5~15%	2022年4月1日
IS KOBAYASHI	サイディング、ルーフ、グランド全商品	17%	2021年8月1日
NORITZ	ガス給湯機器、ビルトインコンロなど	5~7%	2022年7月1日
Housetec	システムバスルーム、キッチン、ガス給湯器、洗面化粧台など	2~13%	2022年4月1日

※対象商品名は各社の発表に基づく。一部の商品、工事、オプションを除く。

ポキ樹脂がキッチンのカウンターなどさまざまな製品に使用。さらに、FRP(繊維強化プラスチック)がウォシュレットの便座にも使われる。3つ目の鋼板も建具などに使用される。いわゆる「アイアンショック」問題の余波を受けている。

値上げを発表したのは今年1月の第3四半期の決算報告のタイミングだった。9カ月間の営業利益は前期281億円に対して149億円増の430億円となったが、原材料費が前期比76億円増となった。「原材料費が前年と同じであれば500億円の営業利益になっていたと考えれば、インパクトがある数字。9カ月でこの数字なのでこのまま行けば、1年で100億円を超えてしまう」と同社広報部の佐藤主税氏は危機感を抱く。

2019年にも値上げに踏み切った同社だが、それは13年ぶりのことだった。そこからわずか3年での値上げは想定外のことだと佐藤氏は強調する。「国内の値上げには慎重です。売上げが下がるのを心配する社員もいる一方で、もはや限度を超えたという意見もあり、盛んに議論が交わされました。企業努力でカバーするにはなかなか難しいレベルという結論になりました」

第19回

🚶 今もウォーキングにお付き合いください

三成 哲也
の

ウォーキング 日誌



2022年8月21日 孫の柊也とレモンガススタジアム平塚でサッカー観戦

一週間ほど前、長男から21日に柊也と嫁の3人でサッカー観戦に行く予定であったが、所用で行けなくなったので代わりに行って欲しいとの連絡がきた。横浜スタジアムなら喜んで行くがサッカーはちょっと気が進まなかった。他に代役はないかと言うと柊也が爺を指名しているという。柊也の指名なら断る訳にも行かずOKした。

柊也達との待ち合わせは平塚駅16時30分

今日のウォーキングは茅ヶ崎駅から平塚駅まで。余裕をもって2時間前の14時30分に茅ヶ崎駅を出発。

茅ヶ崎駅からサザン通りを通って茅ヶ崎海岸に向かう。昔ながらのお店が立ち並んでいる商店街を抜けると茅ヶ崎海岸だ。天候が良くないせいか海水浴客も疎らだ。今日は浜辺に下りないで134号と海岸の間にある遊歩道(サイクリングロード)を柳島方面に向かう。

遊歩道がそろそろ途切れる頃だ。ここで一旦、茅ヶ崎の海ともお別れだ。烏帽子岩も江の島もずいぶん小さく見える。相模川の河口を横切る湘南大橋はもうすぐそこだ。この橋を渡ればもう平塚市。遊歩道から134号線を平塚方面に歩くと右手にゴルフ場が見える。ここは忘れもしない私のゴルフデビューコースの「湘南シーサイドCC」だ。もう40年も前のことだがそのときの記憶が鮮明に蘇る。デビュー戦にしてはかなり良いスコアでホールアウトした覚えがある。多分そういふのをビギナーズラックというのだろう。一緒に回っている人たちに迷惑を掛けまいと、必死にボールを追いかけようとしたような気がする。ゴルフは20年ほど続けてやめた。もうやめて20年経つが最近また始めようかという虫が自分の中でうごめき始めているのは事実だ。40年前と変わらぬゴルフ場を右手に見ながら湘南大橋にさしかかる。今日はさほど風も強くなく途中バラバラと雨が降っていたせいか少しは凌ぎやすい。この橋を車では何十回も渡っているが歩いて渡るのは初めてだ。車で渡るとスイスイとすぐだが歩くと結構距離がある。多分1km弱はあるだろう。途中、時計に目をやる。まだ15時30分過ぎだ。待ち合せの時間まで1時間近くある。少しペースを緩めよう。橋の上から暫く相模湾を見下ろしていた。この橋の歩道は広く、止まって海を見ているも邪魔にはならない。海の雄大さを改めて実感する。時には荒れ狂う海も今日は非常に穏やかな表情だ。湘南大橋を渡り終えて海岸線沿いに歩く。途中129号と交わる高浜台の信号を突っ切り、平塚駅南口入口の信号を左折して平塚駅に向かう。途中左手に衆議院議員の河野太郎事務所がある。駅はすぐそこだ。待ち合わせ場所は平塚駅の大磯寄りの改札口を出て王将の前あたり、まるで王将で飯を食わせると言わんばかりの待ち合わせ場所だ。待ち合わせ時間のちょっと前に駅の階段を下りてくる柊也と長男の嫁の姿が見えた。柊也は湘南ベルマーレのユニフォームから帽子、首に掛けているタオルまで湘南ベルマーレ色だ。嫁も湘南ベルマーレのユニフォームを羽織っている。想定通り?王将でご飯を食べてレモンガススタジアム平塚に向かうことにした。Jリーグ観戦は自身初めての体験である。

結果は鹿島アントラーズと1対1の引き分けだった。